

科目名	日本語教育の実践Ⅳ(技能別指導・音声)1～3
授業の目標・ねらい	VT 法 (Verbo-Tonal Method) の基本的な考え方について、他の言語教授法、音声指導法と比較しながら、どの点が異なりどの点がユニークなのか説明していきます。また、わらべうた、リズム運動など実際に指導テクニックを学んでいきます。
授業内容・授業方法	<p>【授 業1回目】</p> <p>1. VTS (Verbo-Tonal System) の基本的考え方 音声聴取の優先、言語の全体構造、最適要素、身体運動機能、リズム・イントネーションの優先、音声聴取・生成における身体の役割、緊張と弛緩</p> <p>【授業2回目】</p> <p>1. 具体的指導法: わらべうたリズム (音楽的刺激) の原理</p> <p>2. 伝承わらべうたと創作わらべうた</p> <p>3. 変形発音、隣接音、緊張度を利用する方法</p> <p>【授 業3回目】</p> <p>1. 身体リズム運動の原理と実践 (全体の動きが局所を動かす)</p> <p>2. 発音指導の実際</p>
予習・復習	復習として発音と身体の動きを実践しながら確認してください。できれば未習熟または学習中の外国語の音声についてその言語の「～らしさ」を聞き取る練習をしてください。
使用テキスト	『VTS 入門』
参考書等	
講師名	中野二郎
所属	別科 日本語教育課程
研究分野	音声指導、言語リズム
講師紹介	プロソディ、特に言語のリズムに関心を持っています。また、日本語教育の立場から日本語ノンネイティブが日本語のプロソディを習得する際、どんなサポートができるかをテーマにしています。